

令和5年 萩市議会 3月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	13	西 中 忍	3月7日午前
2	9	佐々木 公 恵	
3	8	森 田 宗 和	午後
4	10	美 原 喜 大	
5	1	水 津 和 男	
6	12	関 伸 久	3月8日午前
7	7	村 谷 幸 治	
8	14	斉 藤 眞 治	午後
9	4	小 林 富	
10	2	浅 井 朗 太	
11	6	松 浦 誠	3月10日午前
12	5	瀧 口 治 昭	
13	17	宮 内 欣 二	午後
14	3	岡 崎 隆 志	

質問順位	1	質問者	西 中 忍 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 12月定例会一般質問の市長答弁は事実なのか	<p>1. 市長は12月定例会の一般質問で、道路陳情で直接会った国会議員が、小郡・萩道路の明木～萩間を高規格のバイパスで整備したうえで山陰道へ直接つなぐということを理解してもらったという旨の答弁をしています。</p> <p>この答弁は大変に重要なことから、昨年の道路陳情で直接会った国会議員が何について理解したのか再度お尋ねします。</p>		
2. 市長は、行政サービスの継続性についてどう考えているのか	<p>1. 市では、田中市長就任後、市民1人当たり1万円の商品券を配布したり、誕生祝い金や多子世帯への祝い金など、現金や商品券を直接市民へ支給する事業を次々と実施しています。</p> <p>さらに、来年度から実施しようとしている、小・中学校の給食費無償化には毎年1億円以上の予算がかかることから、本当に将来にわたって継続できるのか、大きな疑問があります。</p> <p>そこで、市長は行政サービスの継続性について、どのような認識を持っているかお尋ねします。</p> <p>あわせて、このように自主財源が多くかかる事業について、将来にわたって財源をどのように確保し、どう継続していこうと考えているかお尋ねします。</p>		

質問順位	2	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 健康寿命の延伸について(帯状疱疹を未然に防ぐために)	1. 帯状疱疹ワクチンの効果をどのように考えるか。 2. 帯状疱疹ワクチンの周知と接種の推進について。 3. 帯状疱疹ワクチン接種の助成についての考えは。		
2. 萩市総合アプリ「はぎなび」の活用について	1. 運用の経緯と現在の状況。 2. 2つの機能についての現状と課題。 3. 今後の更なる活用について。		
3. 安心・安全で快適な学校教育環境の整備について	1. てんかん発作時の口腔用液(ブコラム)の投与について。 (1) 文部科学省からの事務連絡について、各学校への伝達は。 (2) 学校においてブコラム投与に適切に対応できる体制整備は。		

質問順位	3	質問者	森田宗和議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 萩阿武川温泉ふれあい会館休業補償事業について	<p>1. 3月の補正予算で、萩阿武川温泉ふれあい会館の改修工事に伴い、施設を休館することとなったため、その減収分相当を、補償するものであるが、指定管理人の（有）アクアグリーン川上の専務取締役が、市議会議員と聞いておりますが、この補償事業において、市議会議員から、要望等ありましたかお聞きします。</p> <p>2. 過去に要望等ありましたかお聞きします。</p> <p>3. （有）アクアグリーン川上で、市議会議員が専務取締役についておられると聞きました。市の行政は、公平、公正が保たれていますかお聞きします。</p> <p>4. この会社は、市からの指定管理人ですが、私の考えだと、請負人になると思っておりますがお聞きします。</p>		

質問順位	4	質問者	美原喜大議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 第3セクターと地域活性化について	1. 今回の第3セクターへの承継は、株式会社のこととも言えども、将来的に、市の活性化へ繋がるもので、今後も必要性が有ると思えますが、人口減少や会社等承継問題の現状を勘案して、今後の第3セクターに期待すること等、市長としての「思い」を述べてください。		

質問順位	5	質問者	水津和男議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 漁業に関する課題と問題点の早期取組	<p>1. 漁業の活性化は、栽培事業と海・川の環境改善が必須です。ご理解いただいていると思います。</p> <p>そこで、春の風物詩にもなっている「しろうお漁」に関係することです。昨年、水産課・しろうお漁業組合・県栽培漁業公社の3者打合せがあり、産卵場づくりに新たな方法を試行してみるとのこと。良い結果が出ることを大変楽しみにしています。</p> <p>さらに、推し進めていただきたい内容があります。しろうおだけで考えていましたが、上流の阿武川のアユ、沿岸のしらすも不漁であり一本の線で捉えると総合的な対策が必要と思われまます。お互いの漁業権のことがあり中々踏み込めない部分がありますが改善に繋げる意味からも3つの漁業組合と水産課・県栽培漁業公社の5者協議が必要と考えます。</p> <p>コケの増殖方法、青のりの増殖、引き網で捕獲したしらすとしらうおを栽培に繋げる等々が考えられますが、どのようにお考えですか。</p> <p>2. 定置網に入ったマグロは漁獲制限から放流することになっている。マグロは一旦動きを止めると死にます。結果、資源保護にはならず廃棄であり海を汚していることと同じである。改善策が必要と思いますが、どのようにお考えですか。</p> <p>3. 磯焼けを改善するためには、ガンガゼウニの駆除が最優先です。これまでの日当制でなく、駆除した量に見合う補助金制度に変更して欲しい。オール漁業で取組み、一刻も早く解決したいところですが、どのようにお考えですか。</p> <p>4. アオリイカの累代飼育10代以上を沖縄の大学で成功事例がある。県栽培漁業公社および下関水産大学と水産課の3者で是非挑戦をお願いしたいところですが、どのようにお考えですか。</p>		
2. 有害鳥獣対策の進捗について	<p>1. 弥富地域で計画しているとのことでしたが、結果はどうでしたか。次の計画地域はどちらですか。いつ頃ですか。</p> <p>2. サル捕獲の大型檻の移動式は考えられませんか。</p>		

質問順位	6	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 漁業集落は、空き家の活用よりむしろ解体推奨を	<p>1. これまでの市議会の議論において、萩市では、現在、約5,000戸を超える空き家が存在していると報告されている。これは、萩市のみならず、全国的な問題になっており、各自治体でも空き家を活用した政策が展開、実施されている。</p> <p>萩市においても、来年度予算で、旧郡部を中心に空き家を活用し、移住者を呼び込む為の予算が計上されている。これを否定するものではないが、一方で、解体を推奨する考えがないか、お訊ねする。</p> <p>特に、軒先が連なり、住宅が密集する漁業集落は、空き家の活用よりも解体の方がむしろ望ましい。三見、玉江、越ヶ浜、大井などの漁業集落は、高齢化も進み、失火のリスクが高まっている。冬の北風にさらされる漁業集落は、一度、火が出ると延焼のリスクが極めて高い。そういう事態を予防する観点からも、空き家を解体し、更地にすることで緩衝地帯を設ける必要がある。</p> <p>そこで、問題となるのは、固定資産税の負担増である。更地にすることで固定資産税の負担が約4倍になれば、空き家の解体は躊躇される。解体にもお金がかかる上に、固定資産税の負担が増えるのでは、空き家の解消は一向に進まない。</p> <p>解体しても、固定資産税が減免される制度を設けることができないか。市の考えをお訊ねする。</p>		
2. 長引く中核病院の統合交渉、山口県の責任の所在は	<p>1. 市民病院と都志見病院の統合による中核病院の形成について、下記の点について、以下、お訊ねする。</p> <p>(1) 昨年6月に基本合意を目指すとして、現時点で合意に至っていない。こういう交渉事は、期限を設けて行うのが、実例であるが、期限を設けて交渉する考えはないか。</p> <p>(2) 交渉の経緯については説明できないとのスタンスである。M&Aの実務では、交渉経緯について、明らかにしないのは、一般的であり、十分理解できる。これは、守秘義務契約の締結が原因と考えていいのか。</p>		

	<p>(3) 医療圏の再編については、山口県所管の地域医療構想会議で議論されると聞いている。交渉にあたり、ネックになっている点については、山口県と共有されるべきと考えるが、実際は、どうか。</p> <p>(4) 先の特別委員会の市長説明では、山口県からは、当事者同士でまず合意に達して欲しいとの指導があったとのことである。この県の姿勢は、責任逃れではないか。医療問題については、県の責任を負うところが極めて大きい。交渉が長引いている原因は、県のこうした姿勢が影響していないか。</p> <p>(5) 中核病院の形成にあたり、両病院にコンプライアンス上の問題が発生していないかどうか確認する。</p>
<p>3. 浜崎地区の町屋建造物は取得ありきだったのか</p>	<p>1. 萩市が取得した浜崎伝建地区の町家建造物について、現時点で入居者（事業者）が未だ決まっていない。12月1日から1月13日までの2回目のサウンディング市場調査に対しても、参加事業者はなく、この建造物にまったく関心が持たれていない状況になっている。</p> <p>総事業費は、約6,700万円であり、国の補助金を活用してはいるものの、市はこれまで約3,000万円もの事業費を投下している。</p> <p>そこで、以下、お訊ねする。</p> <p>(1) この建造物は、どのような経緯で、市が取得するに至ったのか。また、その時期はいつか。</p> <p>(2) 取得ありきだったのか。それとも綿密な事業計画を策定したうえでの取得だったのか。</p> <p>(3) この事業は、萩市初のコンセッション方式を採用している。この方式を採用すると決めたのは、どのような理由か。</p> <p>(4) 今後、入居条件の緩和を行うのか。</p> <p>(5) この事業の見通しをどのように立てているのか。また、今後も同様の事案があった場合、コンセッション方式を採用するのか。</p>

質問順位	7	質問者	村谷幸治 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 民間企業の広告募集などによる財源の確保について	1. 新たな財源確保として、広報「はぎ」などに広告を掲載しては如何でしょうか。また、施設のネーミングライツ・パートナーの募集を継続的に続けられては如何ですか。		
2. プレミアム付商品券の経済効果について	1. 1次販売では、どれだけの購入がありましたか。 2. 2次販売では、どれだけの申込みがあつて、最終的な購入数は何世帯、何セットでしたか。 3. 商品券の回収率は如何でしたか。 4. この事業を如何評価しますか。		

質問順位	8	質問者	齊藤眞治議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 観光行政について	1. 萩市の観光産業には、萩観光コンベンション協会が必要では。		

質問順位	9	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 部活動の地域移行について進捗と至誠館大学を受け皿とした連携は	<p>1. 現在、部活動地域移行に向けた詰め協議が実施されているかと思えます。令和5年4月から原則、土日は教員が受け持たずに平日も令和5年から3か年をかけて地域移行する予定ですが、現在の進捗についてお聞きします。</p> <p>これについては、教育委員会に留まらず関係者を含めて庁内も横断的な協議の場が必要であり、専用の組織が必要と考えますがどう考えていますか。</p> <p>また、子どもたちがこれまでどおり部活動に取り組む環境を作るには、練習場所などの整備、移動手段の確保、そして、指導者確保とそれらを含めた費用面の検討など多岐にわたる課題がありますが、それぞれどのように取り組んでいますか。</p> <p>地元、至誠館大学はクラブ活動が盛んであり、学生を含めた連携や協力体制を構築することが出来ると考えていますがどうですか。</p>		
2. 物価高騰による市内経済への打撃と雇用の維持・確保に向けた取り組みについて	<p>1. 深刻な物価高騰が長期化および深刻化しています。萩市はさまざまな施策を実施していますが、特に雇用を抱える企業には電気代などの負担は重く、これからの市内雇用に影響が出るのではないかと危惧しています。</p> <p>既に、原油価格・物価高騰対策事業において仕入れ価格や経費の上昇による利益減少に対して支援金（10万円～40万円）が実施されていますが、更なる支援が地元の雇用を支える企業には必要であり、雇用の状況などに考慮した施策が必要ではありませんか。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
<p>3. 菊ヶ浜沿岸部の浜崎地域を中心とした今後の土地活用は</p>	<p>1. 令和3年12月定例会でも質問したように浜崎および菊ヶ浜周辺は萩市にとって素晴らしいロケーションかつ立地でありながら活用が図られておりません。</p> <p>都市計画の用途地域上でも、準工業地域になるため事業用用地としての産業振興や企業誘致、ロケーションを活かした観光にも活用が可能な区域です。</p> <p>活用が進まない理由として、明治初期に作られた公図が元になっていることが多く、現況と一致していないことから土地取引が進まず結果として空き土地・建物が増えて活用が進まなくなっています。このことは萩市における長年の課題であると認識しており、当該地域にお住まいの方に限らず、解決に向けた要望の声を多くお聞きしております。</p> <p>このことから、以前の一般質問では、法務局に対して登記所備付地図作成業務の要望が挙げられないか、質問しました。</p> <p>その後、当該地域からも要望が挙がっておりますが、登記所備付地図作成がなされたときに期待される効果、そして、今後の萩市の要望活動と想定される実施までの期間や見通しについてお尋ねいたします。</p>

質問順位	10	質問者	浅井朗太議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 中学校の部活動地域移行について	<p>1. 新年度からの地域移行される分野（競技など）について。</p> <p>2. 新年度から実施できない分野（競技など）の今後の地域移行にむけた取り組みについて。</p> <p>3. 地域移行についての市民（地域人材・保護者・子ども達・教職員）の理解について。</p> <p>4. 休日の地域移行後のビジョンについて。</p>		
2. 小中学校の給食無償化について	<p>1. 令和4年度実施の中学生給食無償化による効果の検証について。</p> <p>2. 小学生も無償化拡充することの目的について。</p>		

質問順位	11	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 地域防災力の向上への取り組みについて	1. 女性防災リーダーの育成について。 2. 災害時における防災行動計画、個別避難計画について。		
2. 共生社会へ向けての支援について	1. 情報バリアフリーの推進について。 2. 大人の発達障がいの支援について。		

質問順位	1 2	質問者	瀧口治昭 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 今後の地域における医療と介護保険制度への市の対応について	<p>1. 昨年8月に旭地域、明木地区、佐々並地区で市の住民説明会が開かれ、その中で合併前から、これまで委託により運営がされていた診療所が様々な都合により、令和5年度より明木から撤退をするという説明がありました。利用者数、経費の増大など、今後の見通しの上での判断と一応の理解はしていますが、現在審議中の中核病院の形成計画の中でも取り上げられている地域医療への支援と対応はどうなっていくのか。</p> <p>また、8月の説明会の時点では診療所内の介護支援センターはそのまま変更がなく、続けられていくとの理解であったと思いますが、介護センターの事務所も同様に撤退して佐々並に移動をするということで、これまで利用をされていた住民の方達からの不安の問い合わせがあり、担当課の方へもすぐに問い合わせたところ、事務所と職員は移動をするが、介護支援の事業についてはこれまでと同様に支障なく続けていくとの説明でありました。</p> <p>人口の減少や利用者の減少による整理統合は止むを得ないところもありますが、今まであったものがなくなることへの不安はどうしても生じます。市としての4月以降の旭地域の医療、介護制度への対応をお聞きします。</p> <p>また、人口減少と高齢者社会が続く地域の医療、介護制度に対してどの様に今後の対応を考えておられるのかお聞きします。</p>		
2. 防災無線の設置について	<p>1. これも8月の住民説明会で説明がされたことですが、以前福栄地域からの意見を関議員から同様の問題について一般質問で出されたと記憶していますが、屋外拡声器の設置数についてのことです。</p> <p>旭地域において現在は有線放送による屋外拡声器が使われていますが、防災無線整備後はその数が48器から8器になると説明があり、不安と不便との意見がありました。設置場所も問題になるのですが、今後も住民の皆さんから理解が得られる方法を考える必要があるのではないかと考え、市の方針をお聞きします。</p>		

質 問 項 目	質 問 事 項 及 び 要 旨
3. J R山陰本線の活用について	<p>1. 令和5年度の新年度予算ではJ R山陰本線の沿線自治体や、県、関係機関などと、利用促進に係る協議会を設置し、連携して情報発信などに取り組み、沿線住民や観光客などの利用促進を図る、J R山陰本線利用促進事業が上程されていますが、萩市の観光の導入口として山陰本線の活用は今後の萩市の将来に対して、大変重要な事業であると考えます。</p> <p>萩市として事業取り組みにあたり、どのような計画や思いがあるのかお聞きします。</p>

質問順位	13	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 農業振興をどう進めるか	<p>1. 水田農業活性化交付金の見直しの見直しは行われたか。</p> <p>2. 「有機農業・環境保全型農業」の推進をどう考えるか。みどりの食料システム戦略目標25%と有機農業推進計画の策定はどうか。</p> <p>3. 学校給食や医療や福祉施設への無農薬・無化学肥料栽培などの食材提供をどう進めるか。</p> <p>4. 有機農業・環境保全型農業を志向する新規就農者支援の仕組みづくりが必要ではないか。</p>		
2. 補聴器の助成制度を実施してはどうか	<p>1. 認知症予防の効果があるといわれる補聴器購入への助成制度を実施してはどうか。</p> <p>2. 国や県に対して要望する考えはないか。</p>		
3. JRの存続と利便性確保に向けた取り組みをどう進めるか	<p>1. JR西日本は、昨年11月30日に、乗客が減っている路線の過去3年間の状況を公表し、路線の維持などについて沿線自治体などと議論するといっている。その30路線区画の中に入っているJR山陰線益田長門間の存続に向けてどう取り組むか。</p> <p>2. JR西日本から萩市に協議があったか。萩市としてはどういう方向性を考えているか。</p> <p>3. JRも市民の大事な交通手段であるが、利便性の確保をどう考えるか。</p>		

質問順位	14	質問者	岡崎隆志 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 転入希望者に対する案内は適切か	1. 萩市では、移住希望者に対して、どのような基準で地域等を勧めているか。優先順位、または、特定順位の地域などがあるのか。		
2. 病児保育の保護者負担軽減を考えるべきではないか	<p>1. 病児保育を実施して頂いている「いるかのママ」では現在、利用料金は平日1日1,500円となっているが、この利用料が保護者に大きな負担となり、病児保育の利用控えの一因となっているという声を聞く。</p> <p>連日利用や兄弟姉妹での同時利用の際には、利用料を減免することで、安定した病児保育の運営が可能となり、保護者にとっては「安心して働けるまち」につながってくるものと思料するが、市長の考えを尋ねる。</p>		
3. 少子化問題における若年女性減少対策にどう取り組むか	<p>1. 令和4年3月定例会の一般質問で、萩市における少子化の最大の問題は「若年女性の減少である」ということを萩市人口ビジョンをもとに訴え、そこに対策を求めた。</p> <p>萩市の合計特殊出生率は相対的にみると決して低いわけではない。「一人でも多く産んでいただく」という施策では、効果は限定的であると思料する。子育て世帯数の減少にこそ特に対策を講じるべきで、それは本市においては「若年女性の減少」への対策でもあると思料する。</p> <p>副市長のもと、部門横断的に編成されたプロジェクトでは、この点についてどのような検討がなされたのか尋ねる。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
4. 地域の買い物拠点でもある道の駅をどう維持するか	<p>1. むつみ地域片俣にある「道の駅うり坊の郷k a t a m a t a」は、地域住民が会員となり、地域住民で守ってきた道の駅である。</p> <p>しかし売り上げは減少傾向で、加えて昨今の物価上昇により経営が苦しくなっており、さらに役員の高齢化による後継者問題が最大の課題であると聞く。</p> <p>万一、閉店となれば、地域の買い物拠点施設がまたひとつ失われる危機となる。</p> <p>役員さんは以前より、市にこの状況について相談しておられたと聞くが、「むつみ総合事務所には何の不満もない。困ったときには相談に乗っていただき、できうる限りのことをしていただいている」と仰っている。</p> <p>市長や道の駅の所管課である商工振興課は、この相談をどのようにとらえ、どのような検討をされてきたのか尋ねる。</p>
5. 農業への支援手法は時代にあっているか	<p>1. 議案質疑や一般質問で農業への支援策について議論したときに、一つの壁となっているのが「補助金のかさ上げはしない」という原則である。農家の高齢化、担い手不足、産地の維持、耕作放棄地の増加等を考えたときに、この原則は時代に合っているのか。もっと柔軟に対応すべきであると思料する。</p> <p>この原則はいつからのものか。見直しの検討をしたことはあるか。していれば、原則が変わらなかった理由を、したことがなければ、なぜ検討しないのか、尋ねる。</p>